



第 11 回 ITS シンポジウム 2012

CALL FOR PAPERS

2012 年 12 月 13 日(木)～14 日(金)

愛知県立大学 講堂・学術文化交流センター

主催： 特定非営利活動法人 ITS Japan

協賛(予定)： (社)計測自動制御学会、(社)交通工学研究会、(社)自動車技術会、(社)情報処理学会
(社)人工知能学会、(社)電気学会、(社)電子情報通信学会、(社)土木学会、(社)日本機械学会
日本交通心理学会、(社)日本ロボット学会、
情報処理学会 ITS 研究会、情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会
情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会、電子情報通信学会 ITS 研究会
電子情報通信学会パターン認識・メディア理解研究専門委員会

テーマ： しなやかなユニバーサル社会をつくる ITS

東日本大震災のような大災害時には通信網や交通網が遮断されることが多く、緊急時の救命救急活動や、回復期の復旧・復興活動に支障を来すこととなります。ITS は通常時に快適なモビリティを提供することで進化発展していますが、災害時においてもその機能が維持することで堅牢なモビリティを提供するしなやかな ITS 社会が望まれています。また、高齢化が進展する我が国や先進諸国において、高齢者や障がい者が安心して乗り物で移動することができ、また安心して歩行できる ITS 社会が望まれています。本年は、災害時にも堅牢なモビリティを提供する“しなやかな ITS 技術“、そして、高齢者や障がい者を含めた全ての方々が安心して生活できる”ユニバーサル社会をつくる ITS 技術“をメインテーマとし、これらを展望するため以下の 4 つのテーマで企画セッションを設けます。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1) クラウド ITS | 3) 震災復興・防災 ITS |
| 2) モビリティディバイド・高齢者支援 ITS | 4) エネルギーITS |

一般投稿論文のポスターセッションと合わせて、より高度でかつ人間に優しい ITS 技術の発展を期して活発な議論を望んでいます。また、名古屋の特色を生かした特別プログラムも検討しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

1. 投稿方法

投稿方法には「査読あり」「査読なし」があり、投稿時にいずれかを選んでいただきます。2 つの Proceedings を発行し、採用された論文は査読の有無によっていずれかに収録されます。

●査読あり

(1) フルペーパー提出期限：7 月 17 日(火)

(2) 提出物：(1)フルペーパーおよび(2)論文投稿票

使用言語は日本語または英語。A4 サイズで 6 ページ以内。指定の様式に従って、MS-Word ファイルまたは PDF ファイルで作成し、(1)と(2)を下記送付先へ電子メールでお送りください。

(3) 採否と発表セッション日時(暫定)の連絡：9 月中旬

3 名の査読者による「新規性・独自性」、「社会的/技術的有用性」、「説明の明確さ、論理性」、「内容充実度」の各項目の評価にもとづいて、プログラム委員会の判断により採否を決定いたします。

(4) 最終カメラレディ原稿の提出期限: 10月29日(月)

(5) 優秀論文賞と論文誌への推薦:

特に優れた論文には優秀論文賞が授与され、英文論文誌 International Journal of Intelligent Transportation Systems Research に推薦されます。



●査読なし

(1) ショートアブストラクト提出期限: 8月27日(月)

(2) 提出物: (1)ショートアブストラクトおよび(2)論文投稿票

使用言語は日本語または英語。250字程度のアブストラクトを論文投稿票の当該欄に記入し、(2)のみを期限までに下記送付先へ電子メールでお送りください。

(3) 採否と発表セッション日時(暫定)の連絡: 9月中旬

(4) 最終カメラレディ原稿(フルペーパー)の提出期限: 10月29日(月)

A4サイズ6ページ以内のフルペーパーを指定の様式に従ってご提出いただきます。

なお、投稿票ならびに論文フォーマットは、ITS Japan ウェブサイト

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium11/ に掲載します。

2. 参加登録料

・論文発表者参加登録料(投稿料を含む): 一般15,000円/学生8,000円

・聴講のみの参加登録料: 一般会員15,000円/一般非会員20,000円/学生3,000円.....12月5日(水)まで
一般会員18,000円/一般非会員23,000円/学生3,000円.....12月6日(木)より

3. 発表方法

一般投稿論文は査読の有無に関らず全て「対話型セッション」にて発表していただきます。本セッションは、ポスターを作成していただき、ポスターの前で参加者と直接対話しながら議論を深めていただくものです。後半の時間帯には、モデレータの司会による公開討議の時間を設け、さらに議論を深める工夫をする予定です。また数件のベストポスター賞を選考委員会によって選定・授与いたします。

4. 募集する論文の分野

ITSに関する基礎技術から応用技術まで、幅広い分野の論文を募集します。以下に代表的な分野を示します。

- | | |
|--|--|
| ◇ センサ技術
画像、レーザー、誘導コイル、超音波センサ、
およびこれらに基づく認識技術 | ◇ 交通制御
事象検出、交通計測、信号制御、事故マネジメント |
| ◇ 通信技術およびアプリケーション
光ビーコン、電波 DSRC、ETC、ナビゲーション | ◇ 交通計画
道路設計、信号設計、交通シミュレーション |
| ◇ 車両制御と自動運転
AHS、ACC、レーンキープ、自動運転、自動運行バス | ◇ 環境改善
車両技術、交通管理技術、情報サービス、社会実験 |
| ◇ 安全性向上とヒューマンインタフェース
ASV、運転支援、シミュレータ、ドライバーセンシング | ◇ 都市工学
都市空間モデリング、都市計画 |
| ◇ 交通心理学
ドライバ心理、歩行者心理、消費者心理 | ◇ 交通政策、交通経済
法令整備、TDM、ロードプライシング、プライバシー保護 |
| ◇ ITSシステムアーキテクチャ、ITSプラットフォーム | ◇ 情報コンテンツ、その他アプリケーション |

■ 第11回 ITS シンポジウム 2012

プログラム委員長: 岩田 彰(名古屋工業大学)

プログラム委員: 小栗 宏次(愛知県立大学)、佐藤 淳(名古屋工業大学)、武田 一哉(名古屋大学)、
中野 倫明(名城大学)、羽田 隆志(静岡文化芸術大学)、藤田 素弘(名古屋工業大学)、
山本 俊行(名古屋大学)、中野 公彦(東京大学)、菅沼 直樹(金沢大学)、
羽多野 裕之(静岡大学)、東 重利(トヨタマップマスター)、安保 正敏(デンソー)
安藤 良輔(豊田都市交通研究所)、森 博子(豊田中央研究所)

■ 送付・問合せ先

ITS Japan 井出 晴子 (〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル)
TEL 03-5777-1013 / FAX 03-3434-1755 / E-mail h-ide@its-jp.org

